

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者） 旅行代理店（支店長）	・売上、客数共に前年比118%と引き続き好調である。 ・今月は最低だったが、2、3か月後は旅行のシーズンになるので、確実に良くなる。また、ボーナスの支給や定額給付金の給付があり、それらの期待度は高い。海外も燃油サーチャージが無くなり、プラスの動きが期待される。ただし、新型インフルエンザの影響で変わる可能性もある。	
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・陽気も良くなって人の動きが大分見えてきている。定額給付金の給付を当てにしていくらか景気も良くなる。	
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エコポイント等に期待している。	
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・企業の休業等が少なくなっている。	
		衣料品専門店（統括）	・ここ2か月位前から、祭りや踊り関係の注文が少しずつ入っている。これから祭りの季節になるので、少しずつ上向きになる。	
		家電量販店（経営者）	・省エネ家電のエコポイントの実施による需要喚起に期待している。	
		家電量販店（店長）	・地上デジタル放送関連が今後期待できるが、相乗効果として白物などの消費マインドが上向きかは厳しい。ただし、エコポイントの実施で一時的に単価が上がり、来客数も伸びる。	
		乗用車販売店（営業担当）	・客にとって非常にメリットのある補助金がもらえるようになれば、購入増加が見込める。	
		乗用車販売店（販売担当）	・今月に入って定額給付金の給付や、土日の高速道路料金引下げ等で、当店の客が多い観光地のホテルやイベント村に県外からの来客数が増える要素があるので、1～2か月先は多少良くなる。	
		観光型ホテル（営業担当）	・ゴールデンウィークの曜日の並びも良く、予約は比較的好調であるが、宿泊者数の伸びの割に売上が伴わないため、油断はできない。	
		旅行代理店（従業員）	・来年度、再来年度、さらに先の旅行パンフレットが無いといった問い合わせが多数ある。将来、旅行に行きたいという客が増えている。	
		設計事務所（所長）	・前年は北京オリンピックの影響があって建築費が高騰したが、ここにきて少し価格が下がってきており、建てたい気持ちがあるという話が少し聞こえてきている。	
		変わらない	一般小売店〔家電〕（経営者）	・家電製品においては、グリーン家電のエコポイントに伴う購入に期待したいが、消費者の購入意欲がどのくらい出てくるのか、景気回復につながっていくのかは見えてこない。
			一般小売店〔金物〕（経営者）	・依然として財布のひもは固いが、定額給付金の給付もあって、多少消費が上向き。
百貨店（総務担当）	・ゴールデンウィークの売上が注目される。東京近郊の客が当地域に遊びに来ると、多少売上が上がる。また、地元の客が東京に行くことが増えて、県産の菓子の売上が上がるかもしれない。しかし、その後の反動がどうなるか、必ずしも客の財布は豊かではないので、情勢はますます厳しい。			
百貨店（営業担当）	・現状の景気は悪いが、これから先もしばらくはこの景気の停滞が続く。			
スーパー（経営者）	・競争の状況は変わらない。デフレに突入する可能性がある。			
スーパー（総務担当）	・消費は非常に厳しく、毎日の食品の購入についても、購入の優先順位は価格になっている。また、買い得品以外、必要な物以外は購入を控えている。買上点数も減少している。			
スーパー（総務担当）	・今後3か月間の予測の中では、販売量、売上については大きく伸びることはない。食品についてはほぼ前年をクリアできると思うが、単価は低下している。衣料品については全く今期予測がつかない。その流れは変わらない。			
コンビニ（店長）	・定額給付金の給付で上向きと言われていたが、特別いらぬものは買わないという傾向は変わらない。お金をかき集める場合も出てきているので、必要なものは買う、必要でないものは買わないので、消費が大きく上向いたり、下向くということはありません。			
家電量販店（営業担当）	・一時的な対策であるがエコポイントに期待している。しかし全体的な売上の増加は期待できない。			

乗用車販売店（管理担当）	・新年度に入り、追加景気対策の実施により、やや安定している。しかし、景気低迷は製造業を中心に悪化し、食品業以外は消費が更に悪化状態である。
乗用車販売店（販売担当）	・10月から段々悪くなっている。4月に入っても来客数が減り、最低の3月の状態を維持したままである。サービス、修理もいくら客の呼び込みをしても修理をしてもらえず、本当に悪い。
自動車備品販売店（経営者）	・数か月ぶりに、今月は良く、3か月後が今月のように良くなるとは思えないが、高速道路料金引下げ等で客の方もお金を使う機運が高まっており悪くなるとも思えない。
住関連専門店（仕入担当）	・一部動きの活発になる商材があるが、消費マインドの低減で、支出を抑えその中で売れているものが変わっている。売れるものがあるとそれ以上に売れなくなるものが出てくる状況は変わらない。
都市型ホテル（支配人）	・景気の底入れ、客の状況は今以上に悪くならない。景気の上昇、物価、株、その他の上昇が見込まれれば、今後、少し上向きそうである。
都市型ホテル（スタッフ）	・しばらくはこのままで行く。その後は新しいホテル等ができるかと大変になる。
旅行代理店（経営者）	・現況から明るくなる様子は無い。
旅行代理店（従業員）	・春の旅行シーズンで、多少仕事はあるが、まだ前年比の7割くらいしかない。
タクシー運転手	・今後も苦しい経営が続く。
観光名所（職員）	・経済対策により、景気回復の期待感が以前に比べると拡がりつつあり、今よりは少し良くなる可能性がある。
遊園地（職員）	・高速道路料金引下げにより、休日の商圏が広がる等、期待できる要素はあるが、それ以上に所得減少によるレジャー支出抑制や出控え等の影響が懸念される。
ゴルフ場（業務担当）	・向こう3か月について、引き合いはあるが客は価格に敏感なので、入場者数は確保できても、売上が伸び悩む状況は続く。
ゴルフ場（支配人）	・ゴールデンウィークの予約状況は非常に悪く、料金の値引きで対応している。そのため、人件費、経費の削減に一層の力を入れなければならない。
競輪場（職員）	・多種競技、他場の記念競輪等で前年度の売上を上回っているところがないので、先行きも厳しい。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・消費をする、お金を使うことをためらっていた人達がある程度使うようになってきている。ただ3～4か月前とは違って、興味のあるもの、良いものなら何でもよいということではなく、内容を良く吟味して、ある程度安くて価値のあるものに、消費の目が向いている。当店のようなアミューズメントパーク等、低単価で楽しめる場所は有利である。
美容室（経営者）	・政府の景気対策の影響で少しずつ美容院に客が戻って来ている。先行きは少し良くなる。
その他サービス[清掃] (所長)	・定額給付金の給付である程度購買に回るが、日常の買物等の範囲内にとどまり、必要以上の買物はしないので景気は変わらない。
設計事務所（所長）	・今とあまり変わらないのではないかと。悪くなったまま変わらないということ、これ以上悪くはない。
住宅販売会社（経営者）	・自動車関連の企業が多い地域なので、土地の売買の状況については、自動車関連が回復しないと全体的な底上げにはならない。
住宅販売会社（従業員）	・注文住宅では、展示場への来場者数の多寡が数か月後の受注量に反映されるため、今後2～3か月も変わらない。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・地域通貨の善光寺小判は評判は良いが、観光用としてのみであり、品物を小判で買物したとは聞かない。この先、売上が良くなるということは考えられない。
商店街（代表者）	・若者は最近お金を使わない。安、近、短のレクリエーションで楽しむ人が多い。
商店街（代表者）	・中心から10キロ以内に大型のショッピングセンターが開店したのでまた客足をさらわれる。
スーパー（店長）	・低価格の傾向が続き、売上の上昇が期待できないので利益は更に厳しくなる。商圏内で製造業の倒産や従業員の解雇が問題になっており、景気の底打ち感が見えてこない。そのうえ、新型インフルエンザの影響が心配される。
スーパー（統括）	・地元企業のリストラ、ペアゼロ、賞与カットなどのマイナス情報が世を占めるなか、競合店の開店により、ますます競争は激化する。さらに新型インフルエンザ発生による食への警戒感が強まること懸念される。

コンビニ（経営者）	・3キロ先に競合店が最近オープンしたので、先行きは厳しい。
コンビニ（経営者）	・収入減による消費減少に向かう層の増加により、現状よりやや悪くなる。
コンビニ（店長）	・単価、買上点数共に減り続けているが、7月末に近隣ショッピングセンターがオープンするのを前にして、商圈内の大型店などがバーゲンセールを激化する見込みであり、当店にはかなりのマイナスになる。
乗用車販売店（従業員）	・環境に配慮した車両も伸びは限界がある。国内の車両の枠の増加は望めない状況なので、今後の対応も大きく変わる。
住関連専門店（店長）	・多少の景気対策を実施していることで、景気の先行きを「悪くなる」ではなく、「やや悪くなる」とした。具体的には、定額給付金の給付、土日の高速道路料金引下げなどの効果が挙げられる。
高級レストラン（店長）	・近くの大型商業施設が撤退し、地域の集客力が極端に低下していることに加えて、県内最大規模の大型ショッピングセンターが郊外にオープンしており、今後必ず悪影響が出る。
一般レストラン（経営者）	・この先、定額給付金の給付により消費増加を期待するものの、下請業者に聞くと、全く仕事の無い話ばかりである。
一般レストラン（経営者）	・季節の関係で5～7月は売上減少時期であるが、世の中の景気感が悪いことから集客、回数が減る見込みである。
一般レストラン（経営者）	・定額給付金の給付や高速道路料金引下げなど話題はあるが、何か月か先はそれが当たり前になり、いつの間にか話題から消えて行く。
観光型ホテル（スタッフ）	・特記すべきイベントも無いので、不景気に戻る。
旅行代理店（副支店長）	・5月までは善光寺の御開帳で、周辺は潤う可能性もあるが、現状ではあまり期待ができない。また、海外輸出主の会社がどのくらい戻ってくるか想像ができないが、話を聞く限りでは、2～3か月先の受注は昨年度の20%くらいを確保できるかどうかといった非常に厳しい話が多い。
通信会社（経営者）	・今後さらに大手自動車メーカー等の下請の中小、零細企業の倒産が予想される。
ゴルフ場（従業員）	・商業施設ビルの利用、駐車場ビルの利用台数について台数的には変わらないが、客の買い控え並びに単価が低下している。
住宅販売会社（経営者）	・依然として厳しい状況が続いており、客の様子からみても回復はまだ先である。
悪くなる	<p>商店街（代表者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の財布のひもがますます固くなってきている。</li> <li>・先月同様に景気は悪い。駅に来る乗客数が減っている。高速道路料金引下げの状況が進むと列車の利用をしなくなり、各地域の活性が下火になる。</li> </ul> <p>一般小売店〔衣料〕（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の工場による操業時間の短縮から、飲食店は非常に悪く、来客数の減少が続いている。売上は非常に厳しい。</li> </ul> <p>一般小売店〔酒類〕（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大手企業グループ全体で帰休がもっと増えると言われており、周りに大型スーパーが何軒かオープン準備をしているので、悪くなる。</li> </ul> <p>一般小売店〔青果〕（店長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景気の先行き不透明、可処分所得の増加が見込めない今、生活防衛意識の高まりは必然である。物を買わない状況は今後更に拡大する。</li> </ul> <p>百貨店（販売促進担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザで、食の安全性が更に重要視される。特に、客が豚肉に対して本当に安全かどうかを見直しており、悪くなる。</li> </ul> <p>コンビニ（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場の商品は安くなるので、更に厳しくなる。</li> </ul> <p>衣料品専門店（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客が定額給付金をいざという時のために蓄えると言っている。</li> </ul> <p>衣料品専門店（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザの世界的流行が収束せず日本でも流行の兆しが見られると、途端に旅行やレジャー等の外出を控えるために衣類を含めて全業種共に悪くなる。</li> </ul> <p>衣料品専門店（店長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・善光寺の御開帳等があるのに全然売上がつなげない。まだまだ落ち込んでいく。</li> </ul> <p>スナック（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良くなる兆しが見えない。政府は各種政策を行ってはいるが、特に週末の高速道路料金引下げは、観光施策としては全般的な外れである。平日の客は減り、休日、休前日の泊り客が日帰り客になってしまう。元々週末は出かける人が多かったのだから、わざわざそこを割引かなくても良い。経済効果を求めるのであれば、平日を割引にした方がよい。</li> </ul>

		都市型ホテル（スタッフ）	・市内のホテルの単価が安くなるにつれて新しく進出してきた5つのホテルもかなり安価でやっている。最終的にお互い潰しあいになることを非常に危惧している。今後は特別に安い価格で1人でも多く客をとる競争が当分の間続く。
		タクシー（経営者）	・大型店の撤退もあり、この先も悪い。
		設計事務所（経営者）	・ガソリンスタンドの設計を手掛けているが、昨年度の原油高の時期から業界全体の景気悪化が続いており、新期計画が1年以上凍結されている。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	・厳しい状況が続く、客先各社の在庫調整がいつまで続くのか見通しが難しい状況だが、更なる減産の話は今のところ無い。夏に向けて研究開発案件が動き出す予定もある。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の受注量はメーカーの在庫調整が完了に近付き、わずかに増加するが、建設機械関連は全く不明である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先10社のうちの2～3社は減産が落ち着き、6～7月ごろから受注量が増える見込である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月先は今月より30%強の増加が見込まれる。一方、前年比ではまだ20%近く減少しており、底からはい上がってきたという感じだが、まだ収益回復には至らない。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・フロン回収機はメンテナンスを含めて受注が少し減少するが、エアゾール缶、ガス缶、ライター処理装置等の大型装置の受注は今後も期待できる。
		建設業（経営者）	・補正予算が動き、各県の公共事業が動くので景気はやや良くなる。
		金融業（経営企画担当）	・製造業の一部において、5、6月にかけて新規受注が見込める先があるなど、多少の動きが出始めている。また、医療関連及び電気部品関連の一部において不況の影響が比較的軽微な企業も見られる。
		経営コンサルタント	・中小企業の存廃による整理淘汰がやや進み、経営革新に取り組んで将来を見据えた活動に取り組む企業は生き残り、受注が集中し、回復する。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・不景気による工場見学者の減少、輸入ワインの攻勢等、マイナスの要因が非常に強く、今のところプラスの要因は見当たらない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・業界全体は良くない。ただプレミアム付き商品券等の受注が入ってきており、マイナスを埋めているような形になっているので、今後2～3か月先についても何か大物があれば穴埋めできる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・厳しい状況に変わりはない。
		金属製品製造業（経営者）	・急に仕事が出てくることもあるようになり、仕事量は先月より出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今がどん底で回復の予定はない。設備関係が復活してくるのは今年末くらいとの予想があり、それまで何とか頑張っただけで、状況としては厳しい。
		輸送業（営業担当）	・政府経済対策の成果が始め消費意識が上がってきており、業種別には大分出荷量、荷扱量の上下が出ている。一部にはプライベートブランド商品等の値下げにより運賃のコスト削減を迫られている部分もあり厳しい。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・景気対策で車や家電製品など購入の動きを見せる客が見え始めている。一部では回復基調との調査結果も聞かれるが、まだ製造業では週2、3日出勤といった企業があり、先は見えない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資も抑制されつつあり、受注量、価格共に、厳しくなる。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・全く見通しが立たない。いつまで我慢、調整をしていけばいいかわからない。
		通信業（営業担当）	・身の周りの生活においても、財布のひもは固く、お金を持っていて使わない傾向が顕著である。消費を促進する商品、サービス、仕組みが見えない。
		社会保険労務士	・受注が増えておらず、1週間通して通常操業の状態に戻るにはまだ時間がかかる。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・5月に決算の報告が出て、数字が確定し、不景気感がまん延するので、消費者の財布のひもは固くなる。食べなくては生きていけないので、ある程度のお金はかけるが、やはり今は安さで決まっていく。しかし半値では倍売ってもトントンなので、作るだけ赤字になる。

		化学工業（経営者）	・ゴールデンウィークの連休が16日間だという企業が県内にいくつかある。鉄鋼関連も非常に悪く、影響を受けている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・設備投資が冷え込むなか、当社の受注予定は目標の半分以上の状態が続いており、この先も続く。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・取引先で支払状況が悪くなっているところがあり、さらにまだあるような気配がある。
		建設業（総務担当）	・建設業者は毎月の資金繰りが一番の心配事になっている。政府もいろいろな経済対策を実施しているが、当社の現状では金融機関からの追加融資が受けられないため、経済対策効果は無い。
		金融業（総務担当）	・支出削減も継続して行っていかなければならず、底打ちしている感じが全くしない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ガソリン、灯油等の価格については小さな上げ下げはあったが落ち着いている。消費の面では衣料関係が伸び悩んでいる。生鮮食料品関係も魚介類等の値上がりに不安を感じているように見受けられる。求職者数は依然として、非常に多い。先行きも不透明なところが多い。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・景気が悪く、このままでは会社がもたない。
		職業安定所（職員）	・求職者の増加はそのまま続くと思われる。また、国の助成金制度を利用しようとする企業も増えてきているので、更なる大きな悪化はないとしても、厳しい状況は続く。
		民間職業紹介機関（経営者）	・部品メーカー等の一部の企業において、平日の休業撤廃、あるいは休日出勤が始まるといった明るい材料が見えてきたが、全体として盛り上がる状況には至っていない。
	やや悪くなる	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人数の減少もさることながら、試験内容が難しくなっている。昨年まで内定を得ていたレベルの学生が軒並み不合格となっており、採用に関して経済状況も見ながらの慎重な姿勢がうかがえる。
	悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・どこの会社も仕事の量が少なく、今後が心配である。
		人材派遣会社（営業担当）	・3月末での契約打ち切りが多く出ており、4～5月の新規案件がない。特に地元の製造業の景況は深刻で、連休も最大20日、16日になる企業もあり、収入が減少し景気に与える影響が懸念される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数は前年を下回っている。世界経済危機による景気の低迷から、特に自動車、半導体関係業界等からの受注の激減により、製造業の求人数の減少が大きい。さらに新規求職者も増加傾向で推移している。